

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成21年4月14日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2773700469		
法人名	株式会社 ライフサポートジャパン		
事業所名	ゆうとび庵摂津・千里丘		
所在地	大阪府摂津市千里丘東1丁目13-7 (電話) 072-625-9555		
評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-2号		
訪問調査日	平成21年3月13日	評価確定日	平成21年5月21日

## 【情報提供票より】 (21年3月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 8 月 8 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	26 人	常勤15人, 非常勤10人, 常勤換算19.95人	

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	4 階建ての	2 ~ 4	階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	有( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 150000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	450 円	おやつ	150 円
	または1日当たり 1,300 円			

### (4) 利用者の概要 (3月1日現在)

利用者人数	27 名	男性	8 名	女性	19 名
要介護1	2	要介護2		6	
要介護3	13	要介護4		5	
要介護5	1	要支援2		0	
年齢	平均 82.6 歳	最低	58 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	摂津医誠会病院 千里丘クリニック すなみ歯科
---------	------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

最寄りの駅より徒歩約2分と交通の便もよく、近隣にスーパーや商店・コンビニエンスストア等があり利便性の高い地域に位置している。ホーム内は家庭的な温もりや季節感を随所に取り入れた生活空間となっている。また、利用者がそれぞれの気持ちの変化にそって思い思いの場所で過ごせるよう、ソファやテーブルの配置にも工夫し安らげる居場所が確保されている。1階には協力医療機関のクリニックがあり、利用者の日々の健康管理や緊急時での密な連携が図れるよう、24時間医療連携体制を整備している。第三者評価については意義や目的を理解し、ホームの質の更なる向上を目指し評価結果を前向きにとらえ、職員全体で改善に向けた体制づくりに積極的に取り組んでいる。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	<p>前回の評価報告は、館内の掲示、運営推進会議・家族会での報告、ご家族への配布、職員への回覧などできめ細かく行なった。評価結果をミーティングで検討し、理念の見直し・モニタリング・研修会などについて、新たな取り組みにつなげている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)</p> <p>今回の受審についても、ミーティングで外部評価の内容と意義を説明し共通認識が持てるように取組んだ。自己評価票はフローリーダーが作成し、ミーティングで全職員の意見を聴取した結果を取り入れて、フローリーダー・管理者・ホーム長で完成させた。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)</p> <p>運営推進会議は、ご利用者・ご家族・自治会長・地域包括支援センター職員・ホーム長・職員が出席し、2ヶ月に1回定期的に開催している。ご利用者やホームの現状・活動内容を報告し、時期に応じた議題で情報・意見交換を行い、子育て支援センターへの訪問・ボランティアの導入など、サービスの向上に繋げた事例も多い。運営推進会議で聴取した、要望・助言・評価は職員全員でミーティングで検討し、日々の業務に活かせるように取り組んでいる。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)</p> <p>ご家族の面会が多いことから、面会時に職員が積極的に意見等を聞き取るように努めると共に、話しやすい雰囲気作りが心がけている。面会の機会が少ないご家族には電話で意見等を聴取している。運営推進会議・家族会・市職員の訪問なども意見収集の機会として活用し、出された意見等はミーティングで検討したり、本社に報告するなど内容に応じて対応し、サービスの質の向上に活かせるように取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)</p> <p>自治会に加入し、地域に根ざしたグループホーム作りのため常に連携に努めている。祭りなどの地域行事・小学校の体育祭・地域の防災訓練に参加し、子育て支援センターを定期的に訪問するなど、年々交流の機会を増やしている。AEDの設置・子供110番の指定など地域貢献にも努め、テラスでの喫茶・食事の際に近隣の住民との交流を心がけている。</p>

## 2. 調査報告書

主任調査員氏名 森 洋子 / 同行調査員氏名 土橋 美也

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初から、「よりよい介護」「感動ある介護」を理念とし、簡潔で理解しやすい表現で、ご利用者・ご家族・職員間に浸透している。昨年度の外部評価後検討された細則の中に、「家庭的な雰囲気」「地域との連携に努め、地域に根ざした」という文言を加え、地域密着型サービスとしての役割を明文化している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関・フロアーの詰め所に掲示し、常に目に触れ認識できるようにしている。新人研修で説明し、全職員が共通認識を持って入職できるように努めている。毎朝の朝礼・ミーティングで唱和し浸透を図ると共に、モニタリング・ケアプランの見直しの際などに理念に立ち戻り、再確認できるように取組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、地域に根ざしたグループホーム作りのため常に連携に努めている。祭りなどの地域行事・小学校の体育祭・地域の防災訓練に参加し、子育て支援センターを定期的に訪問するなど、年々交流の機会を増やしている。AEDの設置・子供110番の指定など地域貢献にも努め、テラスでの喫茶・食事の際に近隣の住民との交流を心がけている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回の評価報告は、館内の掲示、運営推進会議・家族会での報告、ご家族への配布、職員への回覧などできめ細かく行なった。評価結果をミーティングで検討し、理念の見直し・モニタリング・研修会などについて、新たな取り組みにつなげている。今回の受審についても、ミーティングで外部評価の内容と意義を説明し共通認識が持てるように取組んだ。自己評価票はフロアーリーダーが作成し、ミーティングで全職員の意見を聴取した結果を取り入れて、フロアーリーダー・管理者・ホーム長で完成させた。</p>		
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、ご利用者・ご家族・自治会長・地域包括支援センター職員・ホーム長・職員が出席し、2ヶ月に1回定期的に開催している。ご利用者やホームの現状・活動内容を報告し、時期に応じた議題で情報・意見交換を行い、子育て支援センターへの訪問・ボランティアの導入など、サービスの向上に繋がった事例も多い。運営推進会議で聴取した、要望・助言・評価は職員全員でミーティングで検討し、日々の業務に活かせるように取組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援センター職員には、運営推進会議への参加と共に、疑問・課題解決について、随時連携をとり、協力体制を構築している。月に1回、市相談員の訪問があり、ご利用者との面談結果の報告を受け、サービスの向上に繋げている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月に1回写真を豊富に掲載した「ゆうとび庵通信」を発行・郵送し、ホームの行事報告と案内・日々のご様子・スタッフ紹介などホーム全体の報告を行なっている。また、「近況報告」も月に1回作成し、健康状態・暮らしのご様子など個別の報告を記載し、個人の写真を同封し郵送している。ご家族の面会が多いことから、面会時に直接詳細な報告を行ない、随時の報告の機会とすると共に、面会の少ないご家族・緊急時などには電話・手紙での報告を行なっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族の面会が多いことから、面会時に職員が積極的に意見等を聞き取るように努めると共に、話しやすい雰囲気作りに心がけている。面会の機会が少ないご家族には電話で意見等を聴取している。運営推進会議・家族会・市職員の訪問なども意見収集の機会として活用し、出された意見等はミーティングで検討したり、本社に報告するなど内容に応じて対応し、サービスの質の向上に活かせるように取り組んでいる。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ご利用者と職員の馴染みの関係を重視し、基本的には異動は行なわない方針である。職員の悩みやストレスが蓄積しないように管理職と職員、職員間のコミュニケーションが円滑にできるように心がけ、職員の労働条件の改善に努力するなど、離職を抑える取り組みが行なわれている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>入職時には新人研修を行い、その後個人の能力に応じたOJTを実施している。年間計画に基づいて、毎月外部研修・内部研修が実施され、研修内容も充実しており、働きながら学べる環境が確保されている。資格取得についても、教材の貸し出し・受験料の会社負担など、支援体制がある。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>摂津市主催の介護事業者連絡会や、市の相談員とのミーティング・勉強会に参加するなど同業者との交流の機会を持っている。摂津市他グループホームとは、電話で情報交換している。法人内のグループホームとは、相互訪問の機会を設け、見学や勉強会などを通して、サービスの質の向上に繋げている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご利用開始前に、職員がご利用者の自宅などを訪問したり、ご利用者・ご家族にホームを訪問していただく機会を設け、馴染みの関係を築き、安心して入居できるように取り組んでいる。ご家族などから情報を収集し、入居後も大きな環境の変化による不安なく、スムーズに移行できるように配慮している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居時のアセスメントにより、生活歴・得意なこと・好きなことを把握し、生活の中で活躍の場を提供し、ご利用者と職員が協働できるように取り組んでいる。ご利用者を人生の先輩として敬う姿勢が職員間に浸透するように職員教育を行い、ご利用者から学んだり、喜怒哀楽を共に暮らす関係作りに努めている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時のアセスメントで、ご利用者・ご家族の思いや意向を把握し、職員で共有し、日々の暮らしに反映できるように取り組んでいる。入居後のコミュニケーションなどから、新たな思いや意向、変化を汲み取り、介護計画に反映できるように努めている。</p>		<p>センター方式を取り入れた新たな書式のアセスメントシートが活用され、効果を挙げているが、入居時のご利用者・ご家族の希望・意向、また、入居後の希望・意向の変化などを記入し、情報を蓄積していける記入欄の検討が望まれる。</p>
<p>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者・家族との面接時に得た情報をもとに、センター方式の一部を活用した様式を使いアセスメントを行っている。ケアプラン委員会の中で管理者・計画作成責任者・担当職員が話し合い、利用者・家族の希望や意向が反映された介護計画を作成している。家族の面会時等に、作成された介護計画について説明し、家族の同意をもらっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な計画の見直しは3カ月に1回実施するとともに、利用者に状態変化があった場合はその都度変更するよう取り組んでいる。日常の利用者の変化に臨機応変に対応していくために、ケア実施表で介護計画に沿ったケアができていないかを毎日確認している。更に毎月のフロアミーティングで、ケア実施表の結果をもとに、モニタリング表による計画の振り返りを行っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援  利用者や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	医療連携体制加算を導入し、 24時間体制で利用者の日々 の健康管理に取り組んでいる。 利用者の入院時は、早期退 院に向け病院関係者・家族と 連絡調整を行っている。利用 者それぞれの外出への思いを 汲み取り、買い物に行く・喫 茶店でお茶を飲むなどの意向 に、個別に対応できるよう柔 軟に取り組んでいる。		
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  利用者や家族等の希望を大切 にし、納得が得られたかかり つけ医と事業所の関係を築き ながら、適切な医療を受けら れるように支援している	ホームの建物の1階にクリニ ックがあり、提携医として週 3回の往診と訪問看護の協力 を得ている。その他に、歯科 ・精神科等の往診があり、利 用者の日々の健康状態の変化 に迅速な対応ができるよう取 り組んでいる。利用者・家族 の希望があれば、かかりつけ 医の受診へも柔軟に対応して いる。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針 の共有  重度化した場合や終末期のあ り方について、できるだけ早 い段階から利用者や家族等な らびにかかりつけ医等と繰り 返し話し合い、全員で方針を 共有している	重度化や終末期についてホー ムとしての考えを「看取りの 指針」として文書化し、契約 時に説明している。利用者の 状態変化に応じ、家族・医師 とともに状況に応じた話し合 いを重ね、今後の対応につい ての方向性を統一させている。 職員間でターミナルケアにつ いての理解を深め共通認識を 持つために、定期的な研修を 実施している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者のプライバシーの確保のために、日常での声かけや対応に配慮しており、フロアミーティングで職員同士振り返り気付きを話し合っている。個人情報の保護について研修の中で理解を深めている。利用者に関する記録類は施錠できる収納棚に保管している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な1日の流れはあるが、個々のペースを把握し、本人の意向や状態に応じた対応・声かけに努めている。個々の役割や日々のレクリエーションへの参加は、利用者の希望や意向に沿って支援し、「その人らしい暮らし」に配慮した働きかけを行っている。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>カロリー・栄養バランスに配慮した献立と食材、職員によるホーム内での調理により食事が提供されている。日々の献立の中で、季節を感じさせる行事食や彩りの工夫がある幕の内などを取り入れ、食事が楽しみの時間となるよう配慮している。月に数回は利用者の希望をもとに献立を考え、利用者とともに食事作りやおやつ作りに取り組んでいる。</p>		



第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望があれば毎日の入浴が可能で、時間は午後からの入浴が主となっているが、できる限り利用者の習慣や意向に沿った対応ができるよう取り組んでいる。入浴拒否傾向のある人へは、声かけの工夫や清拭・足浴を試みている。希望があれば同性による介助について配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や過去の経験等の情報を、ホームでの暮らしに活かし力を発揮できるよう支援している。居室内の掃除・洗濯物たたみ・おしぼり作り・掃除機による清掃などの役割や、日常のアクティビティーの中で生け花・カラオケ・卓球・書道・小唄など楽しみ事の提供があり、利用者一人ひとりの力量や関心に沿って、参加への声かけを行っている。		
25	61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームは利便性のいい地域にある為、近隣のスーパーへの買い物や神社への散歩などが可能で、利用者の希望に沿って気軽に外出できるよう努めている。また車によるドライブで外食や喫茶店でのお茶を楽しむなどの機会を設けている。利用者の身体機能に応じて、車椅子等での外出や個別対応での外出支援の取り組みもある。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	市からの指導もあり、玄関・エレベーターは施錠しているが、利用者の思いに沿った外出支援ができるよう体制を整え、利用者に心理的な圧迫感や不安が生じないように配慮している。		
27	71	災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回の避難訓練を行い、夜間を想定した利用者参加による訓練となっている。近隣地区の主催による防災訓練に参加するよう取り組んでいる。運営推進会議で、災害対策についてのホームの対応状況を報告し、協力を呼び掛けている。ホーム内に避難袋を設置し、飲料水や食料を蓄え、非常時に備えている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事については、利用者毎に、主食とともに副食1品毎の摂取量も記録し、栄養バランスに配慮している。また水分摂取量についても利用者毎に記録している。利用者の嚥下状態に応じて、きざみ食・ミキサー食等の対応ができています。定期的実施している献立会議で、利用者の嗜好や状態変化を検討し、適宜対応できるよう取り組んでいる。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
		居心地のよい共用空間づくり			
29	81	共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は親しみのある家庭的な雰囲気となっており、さらに、各フロアーの利用者の現状や個性に合わせ、装飾の状況や家具の色・配置等について各階での工夫も見られる。生活委員を中心に定期的にホーム内の環境チェックを行い、安全で心落ち着く暮らしの維持に取り組んでいる。近隣の住民の方々にも配慮し、ホーム周りの植栽の剪定や環境整備に努めている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者・家族と話し合い、希望を取り入れるよう対応している。テレビ・机・使い慣れた収納棚・仏壇等を持ち込み、今までの生活の延長として、それぞれの個性を大切にした居室となっている。居室の名札は、それぞれのフロアーの利用者の状況を考慮し、各階独自の工夫があり、場所間違いのないよう配慮している。		

は、重点項目。